令和８年度 第３回 静岡市スポーツ推進審議会　会議概要

１　日　　時　令和８年10月26日（月）10時00分から12時00分まで

２　場　　所　静岡庁舎　本館３階　第３委員会室

３　出　席　者　【委員】（敬称略）
木宮　敬信、祝原　豊、加藤　綾子、大島　友佳里、
伊藤　省吾、深澤　陽介、天野　温紀、牧田　裕介、森　菜月

【事務局】
（スポーツ振興課）
能口スポーツ振興課長、三矢施設担当課長、深澤課長補佐兼企画係長、森山施設第１係長、鷲澤施設第２係長、島田ユニバーサルスポーツ推進係長、野﨑スポーツツーリズム推進係長、梅原主任主事、齋藤主任主事、萩原主事

４　欠　席　者　田村　元延、鈴木　健司、山城　史人、内川　久雄、
笹本　とよ子、高津　健一

５　傍　聴　者　０名

６　報告事項　（１）2027 年度からのしずおか地域クラブ活動について
（２）今後の「第３期静岡市スポーツ推進計画」策定に係るスケジュールについて

７　諮問事項の受領

８　協議事項　（１）第３期静岡市スポーツ推進計画の骨子について
（２）第３期静岡市スポーツ推進計画の素案について
（３）静岡型スポーツ・イン・ライフ推進パートナー認定制度の審査について

９　会　議　概　要

萩原主事

＜開会＞

・配布資料の確認

・会議成立（委員半数以上の９名出席により会議成立）

・会議の公開について、事前の傍聴希望者：０名

・当日の会議録は、市のホームページに掲載、情報公開する＜異議なし＞

報告事項（１）2027年度からのしずおか地域クラブ活動について

【資料１】

総合政策課

資料１に沿って「2027年度からのしずおか地域クラブ活動」について説明。

＜委員からの質問・意見＞

木宮委員

・対象は公立中学校のみか。

総合政策課

・静岡市立の中学校を対象としているが、市内在住の中学生であれば参加可能。

木宮委員

・どこまでが学校管理下なのか。

総合政策課

・教育委員会の範囲になるため、明確にお答えできません。

木宮委員

・家に帰るまでが学校管理下という考えもあるので、一度家に帰ってから部活に向かうという地域もあると思うが、学校から直接行っていいのか。

総合政策課

・教育委員会で検討中。

木宮委員

・高校入試について、調査書の記入はどうなるのか。他の市と比べて不利になる可能性もある。

総合政策課
・そちらも問題点として認識しており、教育委員会で検討中。

祝原委員
・教育活動の一環としての地域クラブなのか、そこは切り離すのか、基本的な立ち位置はどうなのか。また、指導者はどのように選定・育成するのか。

総合政策課
・地域クラブとしての活動となるので、教育活動とは異なる位置付け。教員も指導員になる場合は身分が変わる。
・指導員は運営団体が募集し、そのうえで市の研修を受講していただく。

木宮委員
・大学生も指導員になれるが、大学生は競技者が中心であり、大学で競技活動をしていない学生が指導員になる場合も多いと思われるため、あまり期待できないのではないか。

総合政策課
・基本的に２人の指導員が１つのクラブを担当し、主担当と補佐担当の体制になると考えているので、サポートしていただきたい。

加藤委員
・どの子も平等に部活ができるチャンスがある仕組みになっている一方で、学校現場と地域クラブを割り切って考えることは難しい。学校生活の中でフォローが必要な子どももいる中で、他の学校の子と混じってクラブ活動ができるのか不安もある。引き続き子どもたちのことを第一に考えていただきたい。

総合政策課
・地域クラブとしては選手養成ではなく、みんなで仲良く交流できる場として考えている。学校と運営団体・市で情報共有・連携を取りながら進めていきたいので、引き続きご協力をお願いしたい。

伊藤委員
・特別支援学級も参加可能なのか。指導者は福祉的な知識が必要になると思う。

総合政策課

・さまざまな立場の方が参加できるように体制を整備していきたい。

木宮委員

・審議会としては、スポーツ実施率の向上を目指している。スポーツ実施率は現状低下しており、今後も低下することが予想される。地域クラブの切り替えでスポーツをやらなくなる学生も出てくると思う。中学生でスポーツをやらなくなると、大人になってもスポーツをやらないことは予想できる。
地域クラブに頼らず、幼い頃から、あるいは小中学生がスポーツに親しめる施策が今後必要になってくると思う。

報告事項（２）今後の「第３期スポーツ推進計画」策定に係るスケジュールについて

【資料２】

萩原主事

・資料２に沿って「第３期スポーツ推進計画」策定に係るスケジュールについて説明。

諮問事項の受領

【資料３】

・諮問事項：静岡市スポーツ推進計画の改定について
・木宮委員が能口スポーツ振興課長から諮問書を受領

協議事項（１）第３期静岡市スポーツ推進計画の骨子について

【資料４・参考資料５】

萩原主事

・資料４・参考資料５に沿って「第３期静岡市スポーツ推進計画（骨子案）」について説明。

＜委員からの質問・意見＞

祝原委員

・基本方針１について、概要版の左ページには「幼児期から」と記載があるが、指標では16歳以上を対象としたものになっている。幼児期の施策もなにか記載があるといい。

能口課長

・行っている施策は実際にあるが、代表的な施策では書ききれていない。

三矢担当課長

・幼児期からのスポーツ実施が16歳以上のスポーツ実施につながるという観点で入れている。

木宮委員

・ライフステージに応じたという意味が伝わればいいので、「幼児期から」という表現を「ライフステージに応じた」変更してもいいかもしれない。

・基本方針５について、「地域経済」と「地域・経済」と２つの表示が存在するが、意味としては「地域の活性化、経済の活性化」という趣旨なので、「地域・経済」に揃えてほしい。

能口課長

・基本理念も含め、検討し修正する。

協議事項（２）第３期静岡市スポーツ推進計画の素案について

【資料５】

齋藤主任主事

資料５に沿って「第３期静岡市スポーツ推進計画（冊子素案）」について説明。

＜委員からの質問・意見＞

牧田委員

・指標について、基本方針１から３については冊子に記載があるので、基本方針４～５についても、指標の内訳があると、もう少しわかりやすい。

加藤委員

・ホームタウンチームやスポーツ施設の紹介について、関連するQRコードがあるとすぐに情報を確認できるため、ぜひ追加してほしい。

能口課長

・スポーツ施設の予約システムの事例やQRコードも追加していきたい。

深澤委員

・24ページの「特にない」の理由を知りたい。市の取組満足しているのか、それとも興味がないのか。

齋藤主任主事

・現時点ではクロス集計を行っておらず、「特にない」と回答した理由までは把握できていないため、確認する。

木宮委員

・９ページに静岡型スポーツ・イン・ライフの説明があるので、推進パートナー認定制度についての記載があるとよい。

天野委員

・基本方針５の指標における「スポーツイベント」とは、どのようなイベントを指すのか。

齋藤主任主事

・現在は市主催・共催のイベントを対象としている。今後はホームゲームも対象に含めることを検討している。

木宮委員

・ホームゲームも含めると県外からの来場者の割合は減る。どこまで含めるのか決めておきたい。

深澤委員

・チームとして、観戦者のデータを提供することは可能。

森委員

・取組事業の例をより詳しく書いてほしい。例えば、どのような効果があったかを記載した方が、市民が見たときに分かりやすく、参考になる。

牧田委員

・スポーツ・イン・ライフ推進パートナーの取組事例を具体的に記載してはどうか。

木宮委員

・基本方針１の代表的な施策として、地域クラブ活動を記載することが適切なのか。地域クラブ活動は、子どもの数が減少する中で対応せざるを得ない側面もあるため、より前向きな施策を記載した方がよいのではないか。

能口課長

・学校の施設利用なども市民向けに行っているので、そういった話も紹介できるよう検討していきたい。

牧田委員

・スポーツ情報の発信も強めてほしい。

齋藤主任主事

・スポーツに関する情報を集約したホームページを来年度作成することを計画している。

協議事項（３）静岡型スポーツ・イン・ライフ推進パートナー認定制度の審査について

【資料６・７】

齋藤主任主事

・資料６・７に沿って「静岡型スポーツ・イン・ライフ推進パートナー認定制度の審査」について説明。

＜委員からの質問・意見＞

木宮委員

・これは新規の応募企業しか表彰にならないのか。

齋藤主任主事

・昨年度応募した企業も、取組内容をさらに充実させて応募することが可能。

以上

令和８年度　第３回静岡市スポーツ推進審議会の審議内容について、
上記のとおり相違ありません。

令和８年 11 月 10 日

静岡市スポーツ推進審議会　会長　　常葉大学教授　　木宮　敬信